

たくさんのご意見ありがとうございます
地域別市民意見交換会
 市内21か所で開催

11月2日から29日の間、21か所で地域別市民意見交換会を開催しました。お忙しい中、延べ354人の方にご参加いただきありがとうございました。

今回は、統一テーマによらず、地域別にテーマを選択しての地域課題での意見交換に取り組みました。平成22年度に2回、以降、21か所で7回目となり合計で9回目になりました。

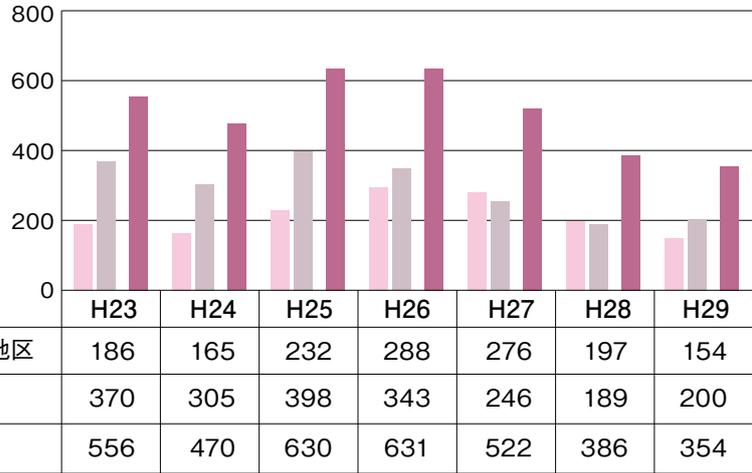
これまでの市民参加人数等についてを高山地域（11地区）と支所地域（10地区）と大きく2つのブロックから確認しました。参加人数は減少傾向にあるものの意見の数については、横ばいあるいは地

域によっては増加する地域があり、意見の傾向では議会の3つの委員会と区別すると、福祉文教が最も多く次いで産業建設そして総務環境の順であり生活に最も身近な事柄から、地域課題の克服への取り組みや今後の地域ごとのまちづくりを展望する意見が多くありました。

私たち議会としては、市民と行政をつなぎ、「行政が自分の考えを反映してくれた」手応えを感じられる様に今後も意見交換会がその一つとなるように内容の充実を図ります。

今回はそのご意見の一部について議会の考え方も併せてご紹介いたします。

H23～H29年度・地域別任意区分の市民参加人数



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
高山地区・11地区	186	165	232	288	276	197	154
支所・10地区	370	305	398	343	246	189	200
合計・21地区	556	470	630	631	522	386	354

年度区分

地域別市民意見交換会 ～ご意見と議会の考え方～

■総務環境委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
人口減少と移住定住	<ul style="list-style-type: none"> 地域の賃金体系も低く、若い人の職場がない。こうした環境を整えないと高山へ帰って来られない。 市として企業や大学誘致に取り組まないと、このままでは田舎の方には住民がいなくなる。 UIターン者の支援制度があるが、支所地域の通勤者や定住希望者には使いづらい制度となっている。補助金の在り方を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> UIターンに対する支援制度は様々ありますが、地域別に課題解決に向かえるのかは検討課題です。 高学歴の若者を必要とする職場は市内では限られており、大都市に集中するのが実態です。しかし長い人生の中で転職は必ずあり、その時に出身自治体や地域が、何時でも受け入れる体制を築き維持していくのが大切です。いただいた意見を参考にUIターン者の受け入れ施策を研究します。
ごみ焼却場	<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却場問題を丁寧に説明してほしい。 市の計画は緊張感がない。妬はだましまし使っているというのが市の考えは甘い。国の基準を守っているだけではだめで市民の方を向いていない。 ここしかない等のやり方だった。開かれた検討委員会を設けて、その上で「ここしかない」という進め方になると思う。 	<p>市に対して次のように意見具申しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①現施設の性能保証期間の延長を、ごみ焼却場新設とは切り離して実施すること。又実施に当たっては、出来る限りの環境基準に配慮し、その対策を取られたい。 ②ごみ焼却場新設については、市は地元町内会の同意が取れない限り建設着手は行わないとしている。宅地化が進んだ中での建設には非常に困難が伴う。現状を精査して、住民の理解が得られるようすすめられたい。